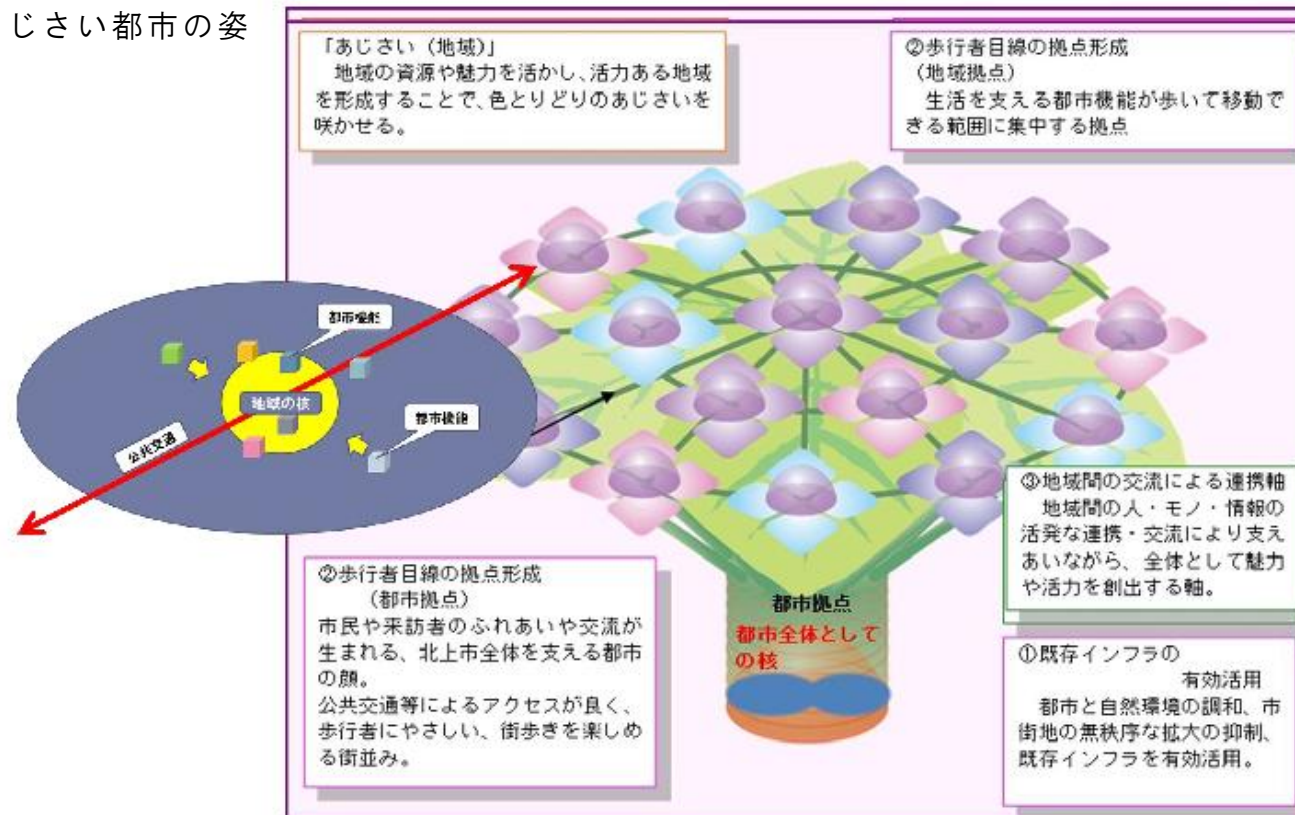


2 あじさい都市の実現に向けた総合戦略の位置づけ

あじさい都市とは、北上市内 16 地区の地域コミュニティの活性化と、地域コミュニティごとに歩いて移動できる範囲に生活圏を支える都市機能を集中させながら、都市全体を支える核（都市基盤）や他地域と連携、共生していく都市のあり方です。

都市を構成する各地域コミュニティをあじさいの「花」に、それら各地域を支える都市基盤をあじさいの「幹」にたとえ、それぞれの地域が独自の資源を活かして自立した地域として咲き誇り、相互に連携することによって人口減少、超高齢化社会¹にあっても活き活きと持続的に発展できる都市の姿をイメージしたものです。

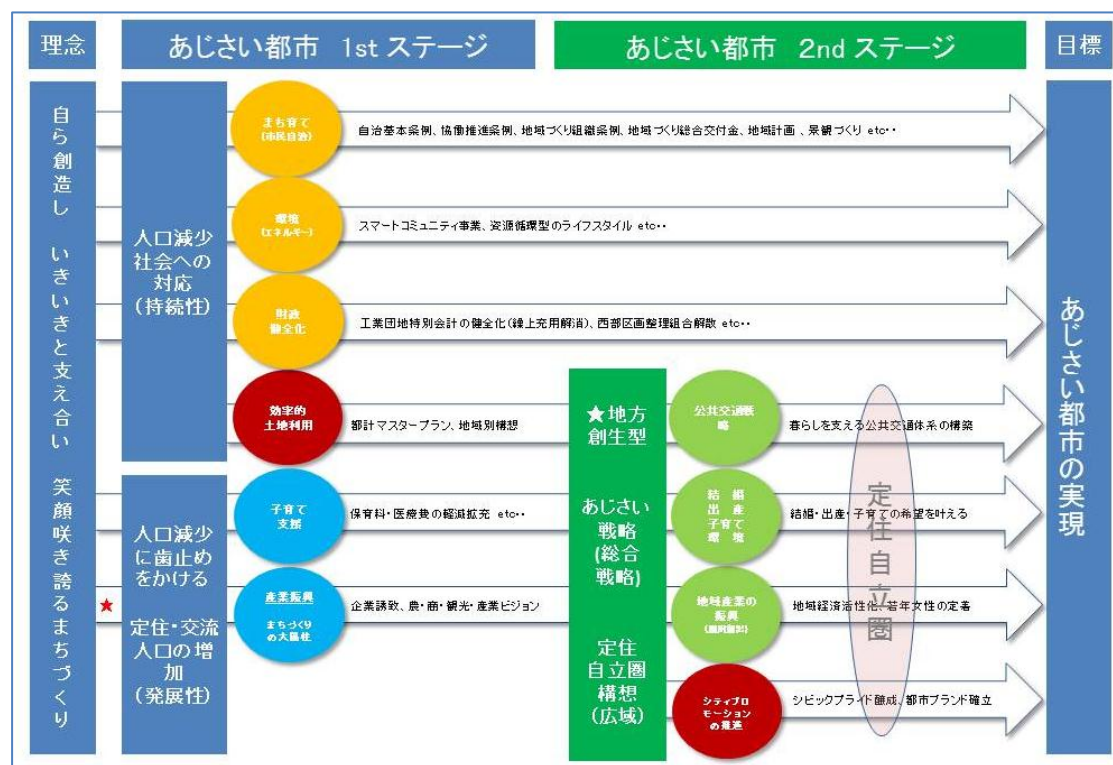
■ あじさい都市の姿



¹ 超高齢化社会；人口に占める 65 歳以上の割合が 20%を超える状態のことをいう（諸説あり）。

これまで、あじさい都市の実現に向けた第1ステージとして、まちづくりの基本的な考え方や進め方、協働のまちづくりを推進していくためのルールを定めた自治基本条例の制定や、将来都市構造や土地利用方針などを総合的に定めた都市計画マスタープランの取組みなど様々な施策を展開し、「あじさい」の芽を育ててきましたが、総合戦略は第2ステージのフラッグシップ²として、公共交通の確保、地域産業の振興、子育て支援、シティプロモーション³の推進の4つを重点プロジェクトとし、北上市総合計画に掲げる理念「自ら創造し いきいきと支え合い 笑顔咲き誇るまちづくり」の下に人口減少対策に特化した「矢」の1本として政策を形成し、実行に結び付けていくものです。

■あじさい都市の実現に向けた総合戦略の位置づけ



² フラッグシップ；旗艦のこと。転じて、同類の事項の中で最も重要なものを表す例え。

³ シティプロモーション；地域住民や北上市で働く方々などの「愛着と誇りの醸成」を通じて、「まち育ての参画」や「地域の魅力発信」の土壌を育て、都市の認知度向上にへとつなげる一連の取組み。